



逆瀬川 あゆみだより

NO.218 2025.8

社会福祉法人

聖隷福祉事業団

逆瀬川あゆみ保育園

宝塚市逆瀬川 2-2-8

TEL0797-77-0415

あつという間の梅雨明けに猛暑。日本の気候や四季は、どうなっていくのだろうと不安になりますね。

先月もお伝えしましたが、暑さ指数の測定をしていると、10時以降の外遊びやテラス遊びが、かなり難しくなっていますので、テラスでの水遊びやプール遊びも10時までに終わるようにしています。少し、空間が狭い感じはありますが、この暑い夏に水遊びの経験ができないのもどうなのだろう・・・と職員間で話をし、各クラス、協力しながら8月も進めてきたいと思います。

7月25日(金)は、園内で夏まつりごっこをホールと地階のすくすく部屋を使用して行いました。ポテトやたこ焼きやさんでは、やりとりの経験をしたり、食べるまねっこをしたりと、うれしそうな表情をしていたうさぎ組やひつじ組の子ども達の姿がありました。

魚すくいでは、すくいおけがいっぱいになるまで、夢中で魚をすくう子どもや、ひとつすくえたら満足気な子どもなど、姿も様々で見ている私達も、たくさんの発見がありました。また、箱積み木は、2・3歳児に大人気！大きな段ボールに横長段ボール、お菓子の箱や丸い箱など、バラエティにとんでいた大きさや形に、子ども達の想像力も開花し、様々な形や遊びに発展していました。お店屋さんのカウンターを作っていたり、滑り台のような傾斜から、丸い箱を何度も繰り返し滑らして遊んでいた・・・2・3歳児がひとりではなく、複数人で遊んでいたのも印象的でした。小さいクラスの子ども達は、いつもと違う環境に少し戸惑う様子も見られましたが、年上の子どもの遊ぶ姿が刺激になって、まねっこしてみようとする1歳児さんもいました。楽しかったと感じた経験は、次の遊びに繋がる一歩になったら素敵ですね。(空き箱収集のご協力、ありがとうございました)

先日、宝塚市第2地区地域連携交流会という会議に参加をしてきました。「地域と専門職で考える防災の体制づくり」というテーマで、民生委員、訪問看護、訪問介護、地域包括、社会福祉協議会、介護施設、クリニック、児童福祉施設などの方が参加し「いざという時にどうしたら?」「日ごろからできることは?」などについて話し合う機会がありました。その話の中で、気になったのは、「ご近所づきあいのない方」ということがあがりました。確かに、おとなりの方の顔を知らない・・・という話はよくTVなどでも耳にします。普段通りの日常が送れているときには、何も問題はないかもしれませんが、災害が起こったらどうなのでしょう。せめて顔と名前、何歳くらいの方・・・くらいは知っていないと、地域の方が探すことも難しくなるかもしれません。安否確認も、ご近所同士の声の掛け合いがあれば、協力体制が取りやすくお互いに助け合えることが増えるかも知れません。そのために、日頃からできることはどんなことなのでしょう。やはり、いつの時代もそうですが、日頃からの挨拶が、人と人をつなぐ第一歩かも知れないなと会議を通して感じた私でした。 辻田 紀子

～ひつじ組保育参加会開始～

8月中旬より、ひつじ組の保育参加会が始まります。
半日園で過ごして頂く中で、活動や他児とのかかわり、生活面などご覧頂けたらと思います。
私たちは「遊びは学び」とよく言いますが、子ども達は遊びながらいろいろなことを学んでいきます。参加当日、子どもたちと一緒に遊んでいただく中でいろいろな発見をしながら楽しい時間を過ごしていただければと思います。

8月の予定

礼拝 4日 18日 25日
協力保育 12日～15日（給食）



今後の保育参観・面談予定

面談 うさぎ組 9月～

面談 ひよこ組 10月～

保育参観 りす組 10月～

～なつまつりごっこ～

今回は地域の方も参加していただく形でなつまつりごっこを行いました。お祭り気分の装飾と法被を着た職員にちょっとドキドキ、わくわくしていた子ども達。魚釣り（魚すくい）・箱積み木・ボール転がし・ボール入れ・たこ焼き屋さんのコーナー、盆踊りを楽しみました。ひつじぐみとうさぎぐみの子どもたちは、箱積み木を積んでは壊したり、自分の周りに箱を積んで隠れたり・・・時間いっぱい楽しんで遊んでいました。箱積み木のペイントは、ひつじぐみの子ども達の手作りでした。ひつじ組さん、すてきな箱積み木をありがとう。なつまつりごっこですてきな夏の思い出ができた子どもたちです。



お誕生日おめでとう



4名のおともだち

すくすくと大きくなってね♪

道の光である神の御言葉



「あなたの御言葉は、わたしの道の光／わたしの歩みを照らす灯。」（詩編119：105）

宝塚栄光教会牧師 岩間 洋

オール電化が進む中、もし何らかの原因で大停電が起こったらどうなるだろうか、と想像したことがあります。冬場や夏場だとエアコンがきかなくなり、凍えたり熱中症になったりするでしょうし、信号が消えて、たちまち交通マヒが起こるでしょう。夜だったら真っ暗闇になって、人の見分けがつかなくなりますし、略奪などの犯罪が多発するかもしれません。明かりはとても大切です。神様の御言葉は、私たちの道の光であり、歩みを照らす灯です。道を踏み外すことなく、真っすぐに歩いていくためには、御言葉の光に照らされなければなりません。自分は分かっているから大丈夫だと高をくくっていると、とんでもない横路に逸れたり落とし穴に陥ったりします。聖書の御言葉を神の言葉として謙虚に聞き、その光に従って行くなれば、神様が備えてくださる祝福の道に進んで行くことができます。そのためにも、毎週の礼拝を大切にしていきたいと思えます。